

神戸市立高等学校教職員組合との交渉議事録

1. 日 時：令和4年9月13日（木）18：00～18：10
2. 場 所：教職員課会議室
3. 出席者：（市） 教職員課長、労務制度担当係長、他1名
（組合） 委員長、副委員長2名、書記長、書記次長2名
4. 議 題：定年引上げに係る要求書の提出について
5. 発言内容：

～要求書の手渡し～（組合から市へ）

（組）神戸市の教育の充実に日々ご尽力されていることに敬意を表します。

さて、8月24日に神戸市労連は定年引上げにかかわる提案に対して神戸市当局と妥結しました。定年引上げによってわたしたちの働き方が大きく変わろうとしています。条例化にあたり、市立高等学校や幼稚園、高専の職場の実態を踏まえた、わたしたちの要求をまとめましたのでよろしくお願ひします。それでは書記長の方から説明させていただきます。

補足説明をいたします。I-1. についてです。教員は座学だけでなく、体育や工業、幼稚園の教員は実習系の授業・保育も担っています。また、様々な行事では、準備から本番まで体力を使う業務が多く、宿泊を伴う場合もあります。高校・高専では部活動にも従事しています。つまり身体を使う職種ということを理解していただき、高齢期の教職員が健康で安心して働くことができるようお願ひします。

I-4. 6. についてです。現在の教育現場では、校務分掌や授業時間割などの理由で、教職員は、短時間勤務制度を利用しにくい職種となっています。高齢期の教職員が、健康上や人生設計上の理由等により、多様な働き方を選択できるよう、短時間勤務を定数外にし、代替教員の配置を行うなどの工夫をお願ひします。

I-5. についてです。現在でも、新規採用者が極めて少ない校種や教科があります。また、教職員数に対する常勤講師の比率も20%に近い現状です。定年引上げ完成まで、2年に一度しか定年退職が出ない制度ですが、私たちの業務に支障が出ないよう配慮いただくとともに、神戸市で先生になりたいという意欲ある人、特に神戸市で働いている常勤講師、時間講師の先生の採用の機会を狭くする、あるいは閉じることのないようお願ひいたします。

Ⅲ-2. についてです。定年引上げに伴って、介護に携わる教職員が増えると予想されます。介護に係る制度・運用面の整備をお願ひします。

Ⅲ-5. についてです。常勤講師の生活を守るため、早急に定年引上げに伴う処遇の改善をお願ひします。

Ⅲ-6. についてです。市労連の「定年引上げ」の妥結内容を、独法下でも引き継ぐこと、および、必要に応じて別途協議できるようにお願ひします。

（市）皆様方におかれましては、平素から本市の教育の振興に、日々ご尽力、ご協力いた

だいていることに対しまして、厚くお礼申し上げます。

ただいま、定年引上げに関する要求書お受けし、概要をご説明いただきました。
本日は、皆さま方からのご要求をお受けしたところでございますので、要求内容につきましては、従来どおり誠意をもって検討し、勤務労働条件に関することにつきましては、皆さま方と引き続き協議させていただきたいと考えておりますので、よろしく願いいたします。以上でございます。

(組) 市立学校園で教職員が永くそして安心して働けるよう、勤務労働条件について、わたしたちと十分に協議をお願いします。本日はありがとうございました。